

平成 29 年度 第 2 回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

1	<u>審議会名</u> 平成 29 年度 第 2 回 安曇野暮らし支援協議会
2	<u>日 時</u> 平成 30 年 3 月 27 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで
3	<u>場 所</u> 安曇野市本庁舎 4 階 会議室 403
4	<u>出席者</u> 中澤 美徳委員、高井 健慈委員、堀井 三郎委員、望月 彰委員、 宮崎 崇徳委員、横田 耕太郎委員、中村 拓男委員、野口 武史委員 <u>事務局</u> 関政策経営課長、北條企画担当係長、地域おこし協力隊高尾
5	<u>公開・非公開の別</u> 公開
6	<u>傍聴人</u> 記 者 2 人 傍聴者 2 人
7	<u>会議録作成年月日</u> 平成 29 年 4 月 3 日

協議事項等

次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ (望月会長)
- 3 報 告 事 項 (議事進行：望月会長)
(1) 平成 29 年度の事業報告について
- 4 協 議 事 項 (議事進行：望月会長)
(1) 平成 30 年度の事業計画(案)について
(2) その他
- 5 閉 会

会議概要

1 報 告 事 項

- (1) 平成 29 年度の事業報告について (事務局より説明)

- ・平成 29 年度に行った事業や各部会について説明。

《移住セミナー・体験ツアー》

平成 29 年度は 20～40 代の子育て世代を対象とし、子育て環境や仕事の情報提供に特化した「安曇野暮らしセミナー」を 6 月に東京、11 月に大阪でそれぞれ開催した。

《おためし住宅》

平成 29 年度より、鍵の返却を(12 月 29 日～1 月 3 日をのぞく)土日祝日も対応可能とし、安曇野市空き家バンクの利用登録者も利用対象に追加した。利用世帯数はこのべ 40 世帯 115 名で、平成 28 年度(のべ 17 世帯 37 名)の倍以上となった。とくに 30～40 代と未成年の利用が増え、週末や連休に 3～4 日間ほどおためし住宅を利用する傾向が強まった。平成 29 年度におためし住宅を利用し、移住された方は 5 世帯 13 名だった。

- ・移住された方の把握はどのようにしているのか。(委員)

⇒おためし住宅の鍵返却時に利用者から直接報告があることが多い。また、不定期ではあるが利用者に対して電話で連絡を取り移住への進捗状況を追跡しており、その際に移住されたことがわかったケースもある。

・おためし住宅の利用者やセミナー・ツアーの参加者に対してその後の追跡調査を行うことで、より正確な実績値が出ると思うので、追跡しやすい仕組みづくりが今後必要ではないか。(会長)

⇒利用者の方々に負担をかけずにより正確な調査ができる方法を検討し実施する。

《空き家バンク》

平成 29 年度の空き家バンクの物件登録者数、仲介事業者数、掲載物件数、成約数、平成 29 年 11 月 7 日に開催した空き家バンク部会の概要等について報告。

全日本不動産協会長野県本部の協議会加入に向けての今年度の動きと今後の方針を報告。

2 協議事項

(1)平成 30 年度の事業計画(案)について。

《移住セミナー・体験ツアー》

協議会主催の『安曇野暮らしセミナー』は東京・大阪で計 2 回開催する。平成 29 年度と同様、特定のテーマに特化したセミナーとする。内容はセミナー部会で今後協議する。東京で開催するセミナーについては、平成 30 年 7 月 14 日(土)に東京交通会館のふるさと回帰支援センターにて開催予定である。

大阪で開催するセミナーについては、例年市のバスを利用し前日に大阪で宿泊して開催してきたが、今年度から公共交通機関を利用して日帰りでセミナーを行いたい。

- ・日帰りではスケジュールやスタッフの体力を考慮しても無理があると思う。今のまま前泊して行くことが厳しいのであれば、大阪で開催する必要はないのではないか。(委員)
- ・大阪でセミナーを行うならば、スタッフの数を減らすなど工夫が必要になると思う。日帰りにするか前泊するかについても、改めて協議する必要がある。(会長)

⇒内容や人員を工夫し、セミナー部会で今後協議する。

県主催の『楽園信州移住セミナー』は中京圏の移住希望者のニーズを補完するため、名古屋で開催されるセミナーに参加する。

《おためし住宅》

おためし住宅の利用者が滞在中に利用できるようなオプションメニューを作成する。協議会に加入している安曇野ふるさとづくり応援団の方々や地域の方々にご協力いただきながら、内容や申込方法を検討する。

《空き家バンク》

環境課において平成 30 年度より「空き家基本計画」に基づいて市内の空き家調査が始まり、特定空き家に加えて活用可能な空き家の調査も行われる。今後調査の動向をうかがいながら、所有者に空き家バンクへの登録意志の有無を照会できる仕組みづくりなどを検討し、掲載物件数の増加につなげたいと考えている。

平成 30 年度より、県外からの移住者への拠点地域等住宅購入費助成事業の補助加算を開始するが、平成 31 年度予算に盛り込むことを目標に、空き家物件の取得などへの新しい補助制度の整備を進める。

・現状、空き家バンクのトップページから仲介事業者のリストへ行きつきにくい。サイトを閲覧する人が簡単にリストを閲覧できるように工夫してほしい。(委員)

⇒ホームページ管理業者と相談しながら、リンクの張り方などの工夫を行う。

《その他》

すでに移住された方々から、移住者同士の交流会を求める声があがっており、地域の方々からも、移住希望者の方々のために何か役に立ちたいという声もいただいているため、移住者や地域の方々交流できる場を設けたい。

移住者が営む店でお茶をしながらの交流会や、子育て中の世代同士の交流会などが例として挙げられるが、具体的な内容や時期については今後セミナー部会で協議したい。

現在、協議会ホームページや県楽園信州ホームページに掲載されている移住体験談は、移住パンフレットの pdf データのみとなっている。また、協議会の事業を利用したことが移住に繋がった方も徐々に増えてきており、幅広い世代の方々の移住体験談を移住希望者に提供し、事業を利用していただけるように誘導したい。

体験談の取材方法は、直接移住者の下へ取材に伺うことと事前に原稿と写真をいただくことが想定できる。今後協力いただける方を選定し、順次体験談の掲載を進める。

(2)その他

松本公共職業安定所の中村委員が平成 29 年度をもって定年退職されるため、残りの任期は後任の方に引き継ぐ。

以上